

北名古屋市市民協働推進事業補助金採択事業自己評価シート

事業名 回想法夏まつり

団体名 回想法スクール卒業生の会「いきいき隊」

項目	着目点	自己評価	自己評価コメント
公益性 公共性	・事業の紹介を積極的に行い、市民に関われた事業でしたか	○	小学生及びその親を対象に行ったが、小学生の祖父母も一緒に姿が見受けられ、家族内での交流も深まったのではないかとと思われる。
	・事業を実施することにより、不特定多数の市民の利益増進につながりましたか	◎	回覧板や広報で周知を図り、参加して戴いた方々に、簡単な材料でちょっと工夫すれば楽しく遊べることを知ってもらえた。
	・事業を通じて市民の理解や参加、協力が得られましたか	○	石橋、六ツ師の自治会の協力により回覧板でも PR できた。子供と若い親世代だけでなく、祖父母も参加してくれた。
実現性 計画性	・当初の事業計画、予算計画は適切でしたか	○	障害保険の出費を予定してなかったが、購入を予定していた西瓜割り用の西瓜は隊員の寄附により合計収支は、ほぼ予算書通りにできた。
	・事業を確実に実施するために適切な体制でしたか	◎	人員配置は予定通り行えた。 他のグループや個人の協力も予定通り行えた。
先駆性 協働性	・新たな成果や仕組みを生み出すなどの波及効果がありましたか	◎	色々なものを手作りで行ったことにより、新たに小物作りの「つくろう会」が発足し、他の隊員にも呼びかけ、毎月1回健康ドームで小物作りを始めた。
	・他団体とうまく協働し、事業を進めることができましたか	◎	「笛吹童子」「朗読クラブいっぽ」「ささやき」等のグループや、ポップコーンのボランティアさんの協力を得た。 明治大学石川ゼミの学生も応援に駆け付けてくれた。
	・行政や団体が単独で行うより、効果をあげることができましたか	◎	いきいき隊員（350 余名）の中に色々な特技を持っている人がいて、それらの人が協力してくれた。
継続性 自立性	・事業を継続するための計画、工夫、協力体制ができていますか	◎	水鉄砲作り、押し花、笹船用の葉等、技術・ものの提供等の協力体制は構築できている。
	・自己資金の確保に努めていますか	◎	新たに「つくろう会」を発足し2か所体制にした。自分の楽しみ以外に余裕があれば「ふれあいフェスタ」等での販売品を作ってもらう。（材料費はいきいき隊持ち）
事業効果 有効性	・費用対効果を考え、経費削減などの工夫をしましたか	◎	西瓜割用の西瓜は、隊員に声掛けいたら複数の隊員から寄付があり、当初の購入予定数の2倍以上の西瓜が集まった。 材料は牛乳パック、豆腐パック等で購入品を少なくしている。
	・当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか	◎	全体的には十分達成できた。

自己評価：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全然できなかった ーわからない 又は該当しない